

## 廣瀬大祐氏

東京理科大学・理工学部建築学科 非常勤講師  
明治大学大学院 建築都市デザイン  
国際プロフェSSIONALコース 講師  
長野県小布施町 特任アドバイザー  
アーキコンプレックス一級建築士事務所 代表



### 講演タイトル

#### IT を用いた建築環境デザイン

廣瀬大祐氏プロフィール：  
1974年長崎県生まれ福岡県育ち。2000年東京理科大学大学院卒業後、隈研吾都市建築設計事務所を経て渡米。2002年コロンビア大学大学院 GSAPPを卒業後同大学助手。2005年帰国後、建築設計事務所アーキコンプレックス設立。2013年台湾台中市都市空間大賞「Green Ray」、2011年氷見市三國清三オーベルジュ「蒼一山荘」、2007-2011富士重工業 SUBARU国際展示会場、2008年北京建築ビエンナーレ日本代表、2008年経済産業省主催パリ装飾美術館「kansei」展など。BIM (Building Information Modeling) コンサルタントのほか、都市景観、商業施設的设计、国内外の大学でITを駆使したデジタルデザイン教育を行う。

## 有村俊秀氏

早稲田大学 政治経済学術院 教授  
同 環境経済経営研究所 所長



### 講演タイトル

#### カーボンプライシングの重要性と 地方自治体のグリーン調達

有村俊秀氏プロフィール：  
東京大学教養学部卒業。筑波大学環境科学修士。ミネソタ大学 Ph.D.(経済学)。上智大学経済学部教授、及び、同・環境と貿易研究センター長を経て現職。専門は環境経済学。現在、カーボンプライシング、省エネルギー政策、自治体のグリーン調達の日米比較等を研究。内閣府経済社会総合研究所客員研究員、未来資源研究所(ワシントン)及びジョージメーソン大学・客員研究員(安部フェロー)、環境省・中央環境審議会専門委員、同・カーボンプライシングのあり方検討会委員、文部科学省学術調査官、環境経済・政策学会理事等を歴任。共著書に『入門環境経済学』、『環境規制の政策評価 -環境経済学の定量的アプローチ』、『環境経済学のフロンティア』等。

## 🌀 開催体制

### 組織委員会

【組織委員長】 加納 誠 (東京理科大学)

### 実行委員会

【実行委員長】 所 千晴 (早稲田大学)

【実行副委員長】 原 辰徳 (東京大学)



## 🌀 会期

2018(平成30)年12月5日(水)

## 🌀 会場

早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館 (新宿区大久保 3-4-1)  
<https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>  
副都心線 西早稲田駅に直結  
JR 山手線・西武新宿線 [高田馬場] 駅下車、徒歩 15分  
東西線 早稲田駅から徒歩 22分



西早稲田キャンパス (早稲田大学ウェブサイトより)

## 🌀 参加費 (予定)

事前受付: 10,000円 (11月12日(月)まで)  
一般受付: 12,000円 (11月13日(火)以降)  
学生: 5,000円  
懇親会費: 4,000円 (学生の講演発表者は無料)

## 🌀 主要日程 (予定)

講演申込〆切: 2018年8月10日(金)  
予稿送付〆切: 2018年9月28日(金)

# エコデザイン・プロダクツ & サービスシンポジウム 2018

## EcoDesign Products & Service (EcoDePS) Symposium 2018



2018年12月5日(水)

早稲田大学西早稲田キャンパス63号館

### Call for Papers

<http://ecodenet.com/EcoDePS2018/>

### 連絡先

エコデザインプロダクツ&サービスシンポジウム事務局  
(イトレイ (株)内)  
〒113-0033  
東京都文京区本郷 6丁目 8-5 本郷菊坂館 101号  
Tel: 03-5840-8141  
E-mail: [secretariat@ecodenet.com](mailto:secretariat@ecodenet.com)  
Website: <http://ecodenet.com/EcoDePS2018/>

### 主催

エコデザイン学会連合  
(幹事団体: 特定非営利活動法人エコデザイン推進機構)

### 後援 (予定)

一般社団法人 産業環境管理協会(エコプロ展)

### 協賛企業

一般社団法人環境ソリューション技術推進機構

### 協賛学協会 (予定)

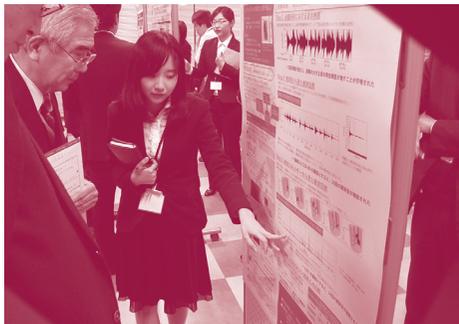
SEMI Japan / セミコンダクタポータル /  
一般社団法人 日本電子デバイス産業協会(NEDIA)

## 1 シンポジウム開催概要

エコデザインシンポジウムは、高い意識をもった企業の技術者・環境担当者が、企業の枠を超えて、大学研究機関の研究者や業界団体とも協力して 1999 年に始まりました。2000 年には、学会の枠を超えたネットワーク、エコデザイン学会連合、およびその事務局組織として NPO エコデザイン推進機構が設立され、以来、10 回のエコデザイン国際シンポジウム、8 回の国内シンポジウムを開催し、海外との連携、情報発信を通じて、エコデザインコンセプトの普及に努めてまいりました。昨今の厳しい経済情勢にも関わらず、2013 年には韓国、2017 年には台湾で共同開催されるなどエコデザイン国際会議の規模は拡大しつつあり、アジア最大のエコデザイン国際会議となっています。

国内では従来、「エコデザインジャパンシンポジウム」を開催してまいりましたが、都市鉱山のような資源の有効活用に関するテーマに加えて、IoT や人工知能 (AI) を活用したものづくりのデジタル化、東日本大震災を契機とした省エネルギーやスマートグリッドのような社会のエコデザインなども重要な課題になりつつあります。さらに、国連による持続可能な開発目標 (SDGs) の採択や欧州のサーキュラーエコノミー (CE) の動き、国内での SR(CSR) の高まりに対しても、活発な議論が展開されています。このようなエコデザインに対する社会ニーズの広がりに対応するべく、2014 年からは「エコデザイン・プロダクツ&サービスシンポジウム」へと改称し、製品、社会システム、サービスなどを対象としたエコデザインに関する学術研究から、実用化技術・最新製品開発、ビジネスへの適用事例までを幅広く議論しています。

2016 年 12 月に開催した EcoDePS 2016 では、産業界とアカデミアの両方から 100 名を超える参加者を集め、活発な議論が行われました。2016 年に引き続き、2018 年 12 月に EcoDePS 2018 を開催いたします。産業界とアカデミアの有機的な連携、産業界における実用化に向けた取り組みの発表、あるいは、若手研究者の成果発表の場を提供することを目的とします。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。



EcoDePS 2016の様子

## 2 講演募集テーマ

### (A) 製品・サービス設計、製品ライフサイクル設計

例：製品・サービスシステム (PSS)、情報通信技術 (ICT)、IoT/ 人工知能 (AI)、環境配慮設計

### (B) 社会のエコデザイン

例：循環型社会、低炭素社会、スマートコミュニティ、環境・建築インフラ、アーバンファクトリー、ライフスタイル、エネルギーシステム (自然エネルギーを含む)、水環境・水循環、交通、環境教育 (リテラシー)

### (C) ビジネス戦略、政策提言

例：サーキュラー・エコノミー (循環経済)、資源効率、エコビジネス、都市鉱山、レアメタル、ESG 投資

### (D) ライフサイクルマネジメント

例：メンテナンス、3R、製品・部品リユース、リサイクル、リマニュファクチャリング、リファービッシュ

### (E) サステナビリティ評価

例：ライフサイクルアセスメント (LCA)、ライフサイクルシミュレーション、マテリアルフロー分析 (MFA)、カーボンフットプリント

### (F) サステイナブルマニュファクチャリング

例：サプライチェーンマネジメント、プロセス設計、材料・製造プロセス、バイオメテックス、バイオプラスチック、インダストリー 4.0、Society 5.0、精密測定技術、ソフトマター



## 3 講演募集

発表形式は、口頭発表とポスター発表の2種類です。

口頭発表の発表時間は、1件あたり15~20分程度 (質疑応答を含む) を予定しています。

言語は日本語または英語とします。

## 4 講演申込方法

講演を申し込まれる方は、以下の必要事項をご記入の上、2018年8月10日 (金)までに事務局 (secretariat@ecodenet.com) 宛に電子メールでお申し込みください。すべての講演に対して予稿を提出いただきます。

※必要事項

- (1) 講演タイトル
- (2) 著者名と所属先 (共著者も含む)
- (3) 著者代表者の連絡先 (氏名、住所、メールアドレス、電話)
- (4) 講演カテゴリー (講演募集テーマ (A) ~ (F) より、ひとつお選びください)
- (5) 発表形式 (口頭発表、ポスター発表、どちらでもよい、両方とも)
- (6) 講演の要旨 (和文200字以内、もしくは、英文400字以内)

なお、講演申込書フォームはウェブサイトからダウンロードできます。  
<http://ecodenet.com/EcoDePS2018/>